

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

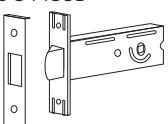
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い




取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう養生などを行って作業をしてください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

フロント・錠ケース	取付ねじ	部品交換要領書
HH-J-0446CS  1 個	 フロント・錠ケース 取り付け用：2 本	 本書 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

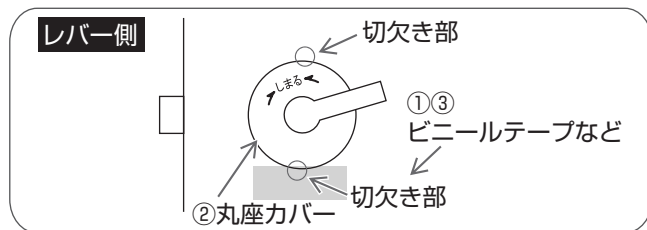
プラスドライバー	マイナスドライバー	ビニールテープなど
 1 本	 1 本	

部品の取りはずし方

お願い

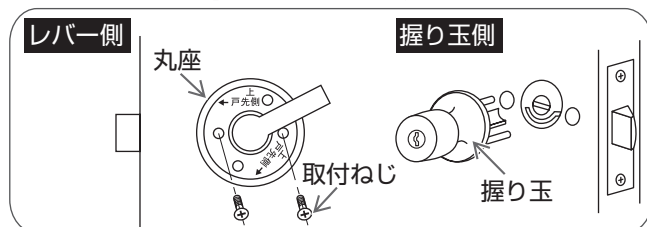
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 丸座カバーの取りはずし



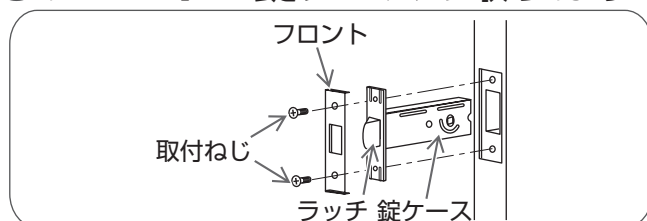
- ①レバー側より丸座カバーの切欠き部のドア表面にビニールテープなどを貼り付ける。
※ドア表面にキズが付いたりするのを防ぐ手順です。必ず行ってください。
- ②レバー側丸座カバーの切欠き部にマイナスドライバーを差し込み、丸座カバーをはずす。
- ③ビニールテープをはがす。

2 レバー・握り玉の取りはずし



プラスドライバーでレバー側丸座の取付ねじをはずし、レバーと握り玉をはずす。
※取付ねじをはずすと握り玉がはずれます。
落下にご注意ください。
※取りはずしたレバーと握り玉は取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

3 フロント・錠ケースの取りはずし



プラスドライバーでフロント・錠ケースの取付ねじをはずし、フロント・錠ケースをはずす。

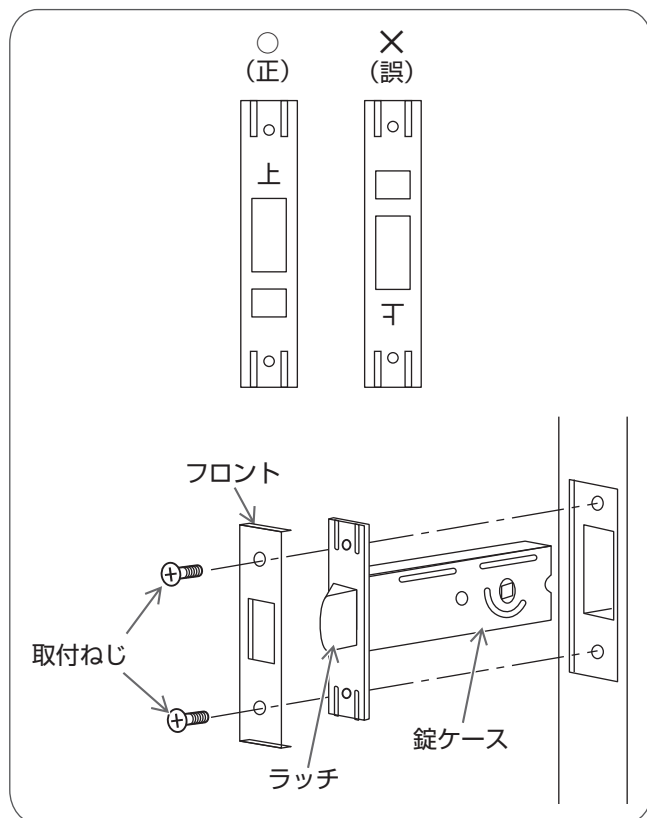
※部品の取り付け方は2・3ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)で怪我をすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

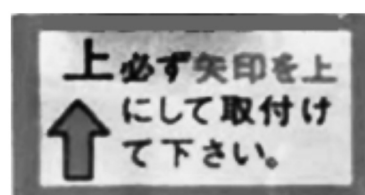
1 フロント・錠ケースの取り付け



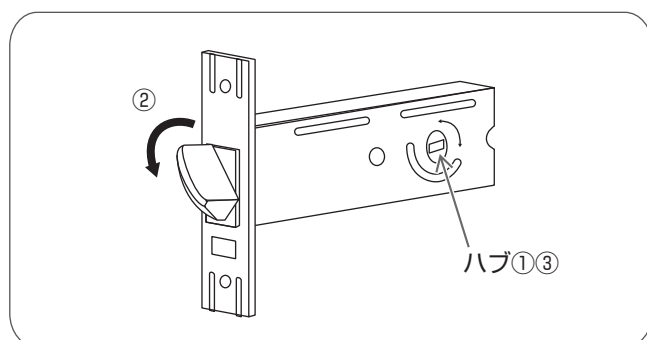
錠ケースをラベル(下図参照)に従って取付穴に差し込み、フロントを合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

※錠ケースには上下があります。必ず所定の方向に取り付けてください。

※ラベル

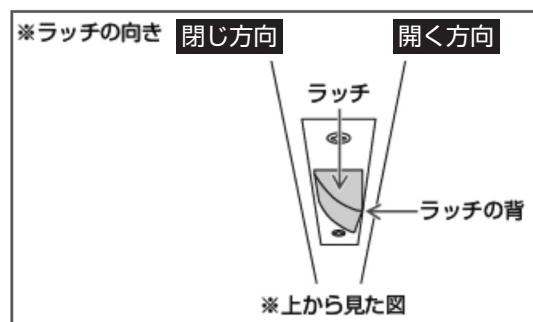


2 ラッチの向きの変更



ドアの開き方向とラッチの向きを合わせる場合は、下記の通りラッチの向きを変更してください。

- ① マイナスドライバーでハブを回してラッチを突出させる。
- ② 突出したラッチを回転させてラッチの背(フラットの面)が開く方向に向くようにする。
- ③ マイナスドライバーでハブを回してラッチを元の位置に戻す。



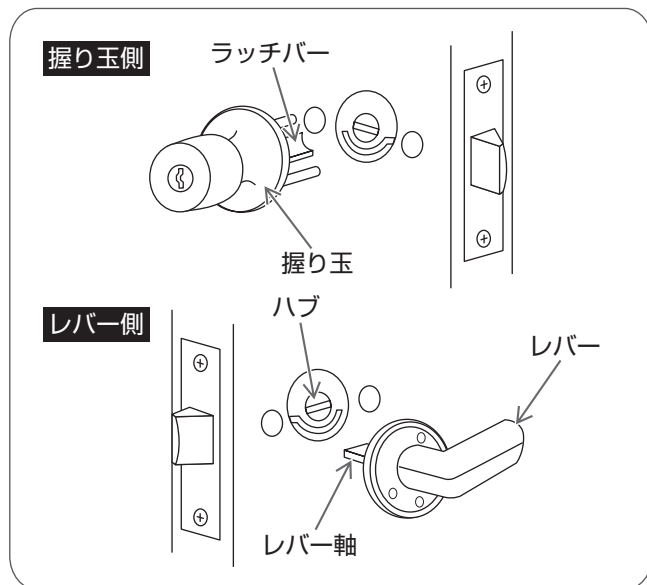
※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

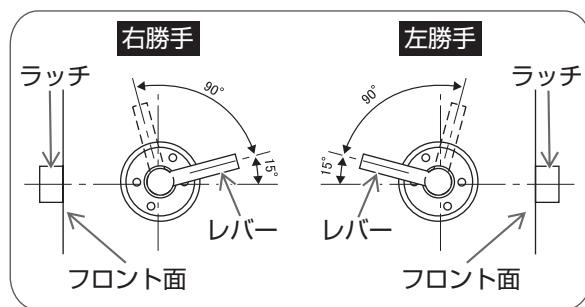
3 握り玉・レバーのセット



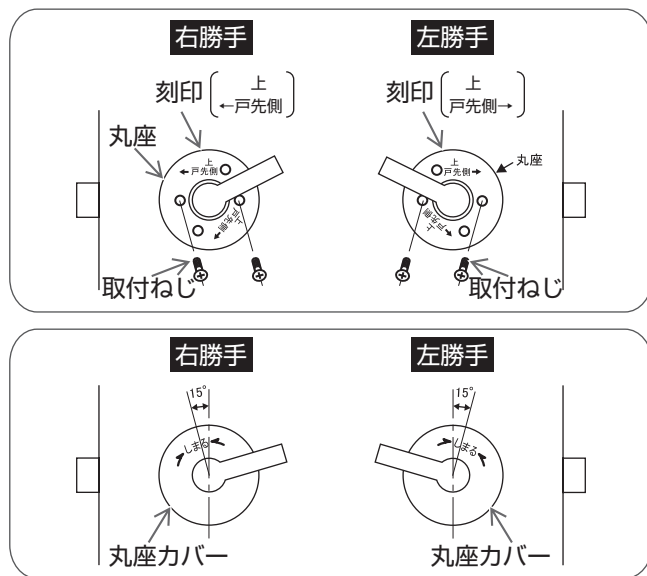
※図は浴室ドアで説明しています。

握り玉側からラッチバーを錠ケース穴に合わせながら握り玉を差し込み、レバー側からレバー軸を錠ケースのハブに合わせながらレバーを差し込む。

※レバー軸が握り玉に差し込めない場合は、下図のようにレバーを90°の範囲で回転させながら差し込む。



4 握り玉・レバーの取り付け



①丸座の刻印を勝手に合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

②丸座カバーの刻印を勝手に合わせ、丸座に取り付ける。

部品の交換後のチェック



- ①部品にガタツキがないことを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③握り玉をまわしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
レバーをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。